

協働学習支援ツール実践事例

【共有機能・配付機能】

中学校第1学年 音楽「音のつながり方の特徴を生かして創作表現を工夫しよう」

○ 本時について (4/6)

- (1) ねらい 自分のイメージに合う旋律を創作する活動を通して、創意工夫をして旋律をつくるために必要な音の選択や組み合わせなどの技能を身に付け、創作した旋律で表すことができる。
- (2) 評価規準 創意工夫を生かして表現で旋律をつくるために必要な、音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。(技能)
- (3) 学習展開

過程	学習活動	教師の指導・援助 (留意点)
導入	1 既習事項の確認をする。 ・前時考えた旋律のイメージを確認する。 ・選択したリズムパターンをリズム打ちする。 2 課題を確認する。 自身のイメージに合うように、音のつながり方を工夫して、旋律をつくろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートやワークシートを使用し、本時の流れを分かりやすく伝える。 ・活動が滞っている生徒にロイロノートと大型提示装置を用いてヒントカードを提示する。
	3 創作する。 ・ハ長調、4分の4拍子、8小節の旋律をつくる。(臨時記号なし、音域はイ音～2点へ音、終止音は主音) ・選択したリズムパターンに音のつながり方を工夫しながら音を選び、旋律をつくる。 ・つくった旋律をロイロノートのテキスト等に記譜する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【ICT活用の工夫】 <ul style="list-style-type: none"> ・自分のタイミングで活用できるように、音階がわかるカードを大型提示装置だけでなく、生徒1人1人に配布する。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・表したいイメージに近づくように適宜、声をかける。 ・記譜の仕方を助言する。
展開	4 交流し、仲間の旋律にコメントする。 ・表したいイメージに合った旋律になっているのかをペアで聴き合う。 ・感想やアドバイスをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・聴き合う時のポイントを示し、表したいイメージに合った音のつながり方が選択できているかをお互いにコメントできるようにする。 ・ロイロノートのテキストに仲間のつくった旋律を聞いた感想やアドバイスを書き込み、生徒間通信にてお互いに送り合えるようにする。
	5 本時の振り返りを行う。 ・楽しくワクワクする感じの旋律を表すために、付点四分音符を使って跳躍進行の多い旋律をつくった。 ・音のつながり方を工夫することで、自分のイメージ通りの旋律をつくることができた。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【ICT活用の工夫】 <ul style="list-style-type: none"> ・共有機能を使い、自分のつくった旋律を記譜したカードを送り合い、イメージに合った旋律になっているかを確認できるようにする。 </div>
終末		

